

サービス見込量進捗管理シート

NO.	項目		令和3年度対計画比を踏まえた分析・考察 (要介護認定者数・要介護認定率のみ令和4年度)	備考
1	要介護認定者数(R4年度)		被保険者数、認定率共に実績値が計画値を下回った。認定率は第7期累計が16.6、第8期R4年度の計画値を16.7%としていたが実績は15.3%。そこまで大きな差ではなく、これといった要因はみあたらない。R4年度認定率は同規模自治体(市貝町)と大きな差はなく、特別に問題視する必要はないと考える。これまでのような単純な右肩上がりではないので、今後の動向を注視していく。	総括表
2	要介護認定率(R4年度)			
3	利用者数	施設サービス	全ての施設において計画を下回った。人口(認定者数)が少ないため、率では差が出てしまうが、人数にすると7~8人/月の差である。(※療養型から医療院への転換があったため、2つを合わせて算定。)利用者数は、計画と実績に大きな差はないと考える。当町は人口規模の割に施設が充実しているため、同規模自治体と比較すると施設利用率が高い。	総括表詳細(1)
4		居住系サービス	特定施設入居者生活介護で大幅減少した。同規模自治体(市貝町)と比較すると本町は計画値も少ないが、計画上の1月あたりの利用者数見込4人に対し、実績1.1人となっている。大きく問題視する数字ではないと考えるが、今後の動向を注視していく。	
5		在宅サービス	訪問通所系で軒並み計画値を下回ったが、居宅療養管理指導及び地域密着型通所介護で大幅増加している。居宅療養管理指導については利用者は増加しているが、利用者1人あたりの給付費は計画より少ない。利用者数実績は同規模自治体(市貝町)と同規模であり、計画との乖離はあるが問題となる数字ではないと考える。	
6	受給率	施設サービス	利用者数と同様の分析となる。	総括表詳細(2)
7		居住系サービス	利用者数と同様の分析となる。	
8		在宅サービス	利用者数と同様の分析となる。県平均と比較すると訪問看護・通所介護が高く、通所リハが低い。	
9	1人1月あたり利用日数・回数		計画値と実績値に大きな乖離はほとんどない。短期入所生活介護(要支援)のみ、割合が計画値の半分以下となっているが、計画上の1月あたりの利用見込人数は1人であることから、問題とする数字ではないと考える。	総括表詳細(3)
10	受給者1人あたり給付費	施設サービス	ほぼ計画どおりである。	総括表詳細(4)
11		居住系サービス	ほぼ計画どおりである。	
12		在宅サービス	居宅療養管理指導が計画より下回っている。上記のとおり同サービスの利用者数は大きく増加しており、受給者1人あたりの給付費は少なくなっている。県や同規模自治体と比較しても給付費は低い状況である。特定福祉用具販売は計画より増となっているが、県平均の実績値と大きな差はない。	

サービス見込量進捗管理シート

NO.	項目		令和3年度対計画比を踏まえた分析・考察 (要介護認定者数・要介護認定率のみ令和4年度)	備考
13	給付費	施設サービス	利用者数と同様の分析となる。現状において、次期計画で施設整備の必要はないと考える。	総括表詳細(5)
14		居住系サービス	利用者数と同様の分析となる。	
15		在宅サービス	利用者数と同様の分析。R2年度と比較し、計画を下回るサービスは若干減少しているが、居宅療養管理指導・地域密着型通所介護が大幅に増加する等、変動が大きい。利用見込人数が少数であるため、利用者実績により変動が大きくなる傾向がある。	